

市政を問う

森田市政総仕上げの年
朝倉市の未来は輝くか

質問者12人、傍聴者41人

一般質問は、年4回開催される定例会の中で行われます。

ここに掲載したものは抜粋ですので、全文につきましては、会議録を閲覧されるか、市議会のホームページでご確認ください。

柴山 恭子 議員

質問項目

- 1 労働時間管理について
- 2 特産物開発
- 3 朝農跡地活用について



Q 地域特産物振興事業として、櫛蠟を6次産業化し、安定供給を図る事業を、耕

A 福岡県が平成24年度から始めた、櫛の植栽事業である地域特産物振興事業だが、櫛は栽培管理が比較的簡単なこと、低木栽培のため収穫が容易なこと、収

作放棄地となることが懸念されている農地の荒廃地対策としてどう思うか。

穫物の貯蔵保存ができ、出荷の計画調整が立てやすいことから、年間を通した労力分散化が可能である。市の耕作放棄地の大部分が山間部、中山間地の農地であるため、耕作放棄地対策や高齢者の営農支援には有効ではないかと考えている。

A 広報紙の活用はもちろん、中山間地域等直接支払制度の協定集落や農地・水保全管理支払交付金の組織にも直接文書を出して周知に努める。また、伐採を行って

活動が実を結ばれようと思う。市としても手伝いというより、一緒になって取り組んでいくべきだと思っている。

Q 櫛蠟を6次産業化し安定供給する事業の考えは

A 地域特産品活動として一緒に取り組む

Q この事業は周知が難しい。朝倉市には650ヘクタールぐらいの中山間地域等直接支払制度の協定農地があり、併用して取り組みを進めていきたい。

朝倉市には650ヘクタールぐらいの中山間地域等直接支払制度の協定農地があり、併用して取り組みを進めていきたい。櫛蠟をこの地域の特産物として育てたいという



低木仕立した櫛
低い位置から枝分かれする
のが理想

Q 朝農跡地活用策のスピード感が全くないが

A 民間との調整は進んでいる 早くに方針を出す

浅尾 静二 議員

質問項目

- 1 市長施政方針について
- 2 甘木公園などの管理運営について



Q 朝農跡地対策は
どうなっているのか

Q 組織機構改革を行い早く進めるとあったが、この一年間何をしていたのか。また、施政方針に「周辺道路の整備等必要な事柄に取り組み」とあるが、非常に解りづらい。平成25年度

当初予算にも基本計画や実施設計の予算組みがないが。

A 道路関係は施設に着手する前に完了しなければならぬし、関係住民への説明等が必要である。農業、

体育施設、その他の部分についても、色々な方々の意見を聞きながら、市としての考え方を示している状況である。具体的な考え方を議論して予算化したい。ただ、

民間との調整もかなり進んでいる。もう少し時間をいただきたい。

Q いつ方針を出すのか、その期限は区切れるのか。

A 平成26年4月で市長の任期が終わる。2月3月と言わず、それ以前の早いうちに出させていただく。

Q 固定資産税率
1.55%から1.50%へ

Q 市税の徴収率が上がる

ない中で、固定資産税の税率を0.05%引き下げるとあるが、このことにより歳入が幾ら減るのか。

A 平成25年度当初予算ベースで1億1600万円程度の減となる。市税の徴収率を上げる努力はもちろん行っていく。

Q 歳入が減って行政サービスが低下しないのか。市長に当選してすぐにやればよかったのではないか。

A 徴収率を2%程度上げていく。朝倉市の税の収納のあり方がどういう状況かを把握したうえでやりたかったのでこの時期になった。



市民が望む
朝農跡地活用を

Q 公民館が「コミュニティ

イセンター」と名称を変えようとしている中で、昨年9月にオープンした「フレアス甘木」は時代のニーズに合った素晴らしい建物である。一方、古い公民館は、

事務所も狭いし、研修室も不足し、バリアフリー化も



手嶋 栄治 議員

質問項目

- 1 コミュニティ移行によるコミュニティセンターの位置づけ
- 2 公共事業について

なされていないなど多くの問題を抱えている。施設の改修や増築等は考えていないのか。また、備品の修繕や設置は地元が行うべきものなのか。

A コミュニティセンターの役割を考え、改修予算を順次つけていかなければと考えているが、まずは建物の構造上、どこまで可能なのか現状把握が必要だと考える。特にバリアフリー化については積極的に対応する。また、地元で購入された備品について、市に寄贈していただいたものについては、市で修繕・改修を行う。



コミュニティ活動が活発
になり事務所が手狭に

Q 「コミュニティセンター」の名に恥じない建物を

A 施設の現状把握を行い、積極的に取り組む

Q 国保特会約6億円累積赤字の見込み 対策は

A 生活習慣病予防等、医療費縮減に取り組みたい

実藤 輝夫 議員

質問項目
1 施政方針にみる行政施策について



Q 一般会計の平成23年度決算は黒字だが、現在の市の財政状況についての考えを伺う。

A 現在の黒字は合併に伴う優遇措置、地域活性化や雇用促進等の交付金、臨時財政対策債等によるもので、税の伸び等による財政構造

の好転によるものではない。

Q 朝倉市は合併による優遇措置で、普通交付税と臨時財政対策債を合わせて約14億円が加算されており、平成28年度から段階的に減少し、平成32年度で終了する。地域が疲弊している今こそ、国の制度を利用して地域浮揚策を講じていくべきではないか。

A 私自身の事業がなかなか無いと言われていたが、朝農跡地についても検討し、実行していくという形で取り組んでいる。

Q 地域浮揚の一つとして、公民館の改修、改築がある。甘木の地域センターは成功例の一つだと思われる。地域の核となる各地域の公民館がコミュニティセンターに変わる今こそ、年次的に施策を講じるべきではないか。

A 今回の建物の建った年代等を調査した上でやるべきことはやっていきたい。

Q 平成24年度国保特会で、約6億円の累積赤字が見込まれる。「繰上充用金」即ち赤字解消の先送り在今后も続けていくのか。収納体制の強化、収納率の向上、医療費の抑制等抜本的改革が必要ではないか。

A 会計処理上では法定外繰入が問題となる。今後は糖尿病予防等、生活習慣病の医療費の縮減に取り組む。

Q 今の建物の建った年代等を調査した上でやるべきことはやっていきたい。



地域振興のシンボルとして

Q 朝倉市における再生可能エネルギーの導入可能性調査について、内容と結果を尋ねる。

A 太陽光発電については「三連水車の里あさくら」を調査し、毎時50kw、パネル数にして200枚の設備が可能である。予定発電

量は年間約5万3000kwで、これは施設の年間電力使用量の10%に当たる。小水力の調査結果は3月末に出る。



大庭 きみ子 議員

質問項目
1 施政方針について

Q 朝農跡地活用計画の全体像は出来ているのか

A 民間との関係もあり、まだ表に出せない

Q 環境センター敷地への公募の内容は。

A 環境センター北側の斜面を予定している。民間業者からの公募で事業を行う。

朝農跡地の活用計画を早急に

Q 今までのどのような調査をされ、検討されたのか。

A 総合体育施設については懇談会を設置した。その中で意見を聞き、協議を進



早急な朝農跡地活用計画を

めている。農業関係団体は相手があることなので、この場では答えられない。構想と全てを一緒に描かないと着工出来ないの、その協議を平成24年4月からずつと行っている。

Q 上水道、下水道等インフラ整備の協議や調整はされているのか。

A 4月から随時行っているが、結論は出ていない。

Q 全体像はどのくらい出来ているのか。

A 100%近く出来ているが、民間との関係があり、まだ表に出せない。

Q 困っている市民のために朝倉市はどう動くのか

A 災害時は全職員で、復旧は専門的職員で動く

ものは多かった。

富田 栄一 議員

質問項目

- 1 災害復興について
- 2 「安全安心」について
- 3 「産業が振興し」について
- 4 「子どもがのびのび育つ」について
- 5 「健康」「環境」「コミュニティ」について



Q 担当職員に任せっぱなしであつたための結果であつて、もつと市の応援態勢があつたら状況は変わつていたのではないか。国の補助の金額要件だけみると、40万円以上の対象被災箇所が400箇所以上あつてのこの結果なのか。

A 農林商工部以外にも都市建設部からの応援で対応した。大小合わせ1000近く全ての災害箇所において、「まずは国庫補助にのせよう」ということで取り組んできたが、地形等がうきは市と違ったことによる結果である。今後は災害に強い農地づくりをやつていきたい。また、農地で復旧が遅れる可能性がある場所については、田植え準備の箱苗づくり時期以前まで

Q 市の第一の政策であつた災害復旧について、農地、農業用施設における国庫補助対象箇所数は、うきは市の1割にも満たないことについてどう思うか。

A 当市においては、採択基準の一定要件を満たさないもの、経済効果が小さい

にはきちんとお知らせする。

Q 昨年7月14日の原鶴地域への避難指示は「11時20分」に出たが、下流の片ノ瀬の観測地点で最高水位が計測されたのは「9時50分」である。この国土交通省の情報を得て避難指示を出されたのか。また、現場に市職員がいなくて、消防団だけだというのはおかしいのではないか。

A 避難指示は他団体と協議しながら決定した。また、市職員をすぐに現場に向かわせる状況になつた。

朝倉市・うきは市 農地関係国庫補助対象箇所数				
	農地	農業施設	計	総額
朝倉市	5	8	13	5千万円
うきは市	103	88	191	7億円強

災害に強い農地づくりへ

Q 市の情報アピールは、電気や水道と同じく、生活

に密着した重要なインフラ事業だと考えられる。また、災害緊急情報の伝達については、現在の防災無線は天氣の状況等で聞こえづらい場合があり、内容が全然聞き取れなかったとの声が多



村上 百合子 議員

質問項目

- 1 安心と協働のまちづくりについて
- 2 ケーブルテレビの開設について
- 3 小中学校の通学路の安全対策について

く、不十分である。そこで、ケーブルテレビを開設し、市内各地の催し物や祭りの様子などを公開して、交流の活性化を図つたり、災害緊急情報の伝達を行つて、より安心・安全な朝倉市を構築していただきたいが。

A 市の情報を多くの市民に知らせることは、行政として当然やらなければならぬ問題であり、市報やホームページも含めて情報提供の方法は検討課題だと考えている。

Q 小中学校の通学路における緊急合同点検が全国的に実施され、図表公開された自治体には交付金が出されると聞いている。朝倉市では点検結果101箇所の数字が上がっているのに公表されていないのはどういうことか。広域である市内

の危険な通学路の整備を早急に推進するための補助対策に取り組んでいただきたいが。

A 朝倉市としては通学路の整備は、交通安全施設整備事業で進めているため図表を公開していない。

Q 101箇所の優先順位は付けているのか。

A 優先順位は付けている。学校に近い箇所、子どもたちが集中して通行する箇所を最初に整備したい。



危険な通学路の整備を迅速に

Q ケーブルテレビを開設して情報提供を行う考えは

A 市民への情報提供の方法は検討課題である